

環境への真摯な取り組みを

沖縄総合事務局開発建設部

宮繕調査官 鬼沢浩志



（喜友名宮繕監督室長代読）

本日、沖縄県設備設計事務所協会並びに建築設備技術者協会九州支部沖縄会の平成11年度通常総会が開催され、滞り無く終了されたことを心からお祝い申し上げますと共に、懇親会にお招き頂き皆様方にご挨拶を申上げる機会を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、沖縄県において、今年は九州・沖縄サミットの決定、沖縄尚学の全国制覇など喜ばしいことが続いております。特にサミットにおいて世界を代表する八ヶ国の首脳がこの沖縄に訪問し、当地で首脳会議が開かれることは空前にして絶後ではないかと思われるぐらいの大イベントであります。

本当に喜ばしいことと思います。この沖縄に、21世紀に向けて明るい兆しを感じるのは私一人でしょうか。

ところで、官庁宮繕においての最近の話題であります、今般、環境配慮型官庁施設計画指針、通称グリーン庁舎計画指針が策定されましたが、これは21世紀に向けた望ましい庁舎建設のあり方を提示しております。また、この指針によるグリーン庁舎の整備は、政府の率先実行策の一つとして『地球温暖化対策推進大綱』にも盛り込まれているところでございます。

近々、那覇において計画指針・同解説本の講習会も予定されているところでありますが、計画指針は、環境問題、とりわけ二酸化炭素の排出を低減すべく、建築資材の生産過程から建設・運営・廃棄に至るまでのあり方、建築設備がなすべき方策、手法、等々を網羅し、それによる効果を定量的に算出する手法を紹介しております。これは単に庁舎の建設に適用するのみならず一般の事務所建築にも十分に適用することが可能であり、またそうすべきものと信じております。

昨今の環境問題はきわめて厳しいものがあり、すべての人々が真摯に取り組まなければならないと、とりわけ設備技術者の責務は重大なものと思いますが、その指針になることを願って策定されております。

皆様方におかれましては、建築設備の専門家として、これら環境問題に対しましても今まで以上に技術力を研鑽され、第一の専門家として一段と飛躍され、益々活躍されることを希望する次第であります。

終わりに、沖縄県設備設計事務所協会並びに建築設備技術者協会のご発展とご列席の皆様のご健勝を祈念しましてご挨拶と致します。

